

# 兵庫県加東郡滝野方言のアスペクト

黒崎 良昭

## I. はじめに

- (1) 調査対象地：加東郡滝野町は兵庫県南部のほぼ中央にあり、加古川の中流域に位置する。主産業は農業であるが、専業はほとんどなく、多くはサラリーマンとして町内外に勤めを持っている。中国自動車道を利用すれば、滝野・社インターから大阪の中心部まで約1時間という便利さから、最近は町内に大規模な工業団地ができ、町外からも人が移り住むようになり、村社会にも変化が見られるようになった。人口は1万人を超え、アパート・マンションの建築ブームで、今も増えつつある。
- (2) 調査年月日時：平成5年11月21日9時～平成6年1月17日12時
- (3) 話者：岡本 勲 昭和2年2月27日生（66歳）滝野歴史民俗資料館嘱託  
梶原ちずゑ 大正15年6月20日生（67歳）無職（元小学校教諭）
- (4) 調査者・調査場所：黒崎良昭、滝野歴史民俗資料館、話者宅
- (5) 調査方法・調査時の状況：かなり深い内省を必要とする項目が多かったので、事前に調査用紙を渡し、回答を準備してもらった上で、一問一答式の調査を行った。話者はともに、調査者が指導する当該方言研究会、民俗学研究会の会員であり、また当該方言は調査者の生活語でもあるので、かなり突っ込んだ質問が可能であった。
- (6) 表記方法：話者からさまざまな文末詞の添った回答が得られたが、必須のもの以外は捨象した。

## II. 調査結果

1. （昔は）よく行ったものだね ①ヨー イッキョック
2. （あのころは）おもしろかったなあ ①オモシロカッリョック（古い言い方。形容詞カリ活用のなごりか。現在は後の②③の言い方が普通である。カリョックに前接するのはオモシロイだけで、他の形容詞、例えばウレシイ、クルシイなどは使えないとのことであった。） / ②オモロカッタ（男性的な言い方。） / ③オモシロカッタ（一般的な言い方。）
3. （もうちょっとで）落ちるところだった ①モー チョットデ オッチョック（当該地方では、この例（オチョッタ→オッチョック）や以下の例のように、著しい促音化の傾向が見られる。）
4. （今にも）落ちそうだよ ①オッチョル デー
5. （財布を）落として ①オトイテシモーテ / ②オトイテ（同様に、ツブイテ<つぶして>、モヤイテ<燃やして>などのようなイ音便も老年層に目立つ。）
6. 困っている ①コマットル

7. (一本の蠟燭が今にも) 消えそうだよ ①キエカケヨル (ケーカケヨル) / ②キエヨル (ケーヨル) (老年層においては、キエル→ケールに発音されることが多い。以下同じ。)
8. (今) 消えようとする ①キエテシマイヨル / ②アッ キエル
9. (完全に) 消えた (瞬間) ①キエテモタ
10. (すでに) 消えていたよ ①キエテモトツタ / ②キエテモトル (②の場合には、早くつけなければ駄目だというニュアンスがある。)
11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた ①キエテイッキヨル / ②キエカケタ
12. (何本もの蠟燭が次々) 消えていくなあ ①キエテイッキョン ナー / ②キエョン ナー
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ ①キエヨル
14. (何本もの蠟燭が全部) 消えているよ ①キエテモトルヤロー
15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ①ケッシュョッテヤ / ②ケシトッテヤ (テヤ敬語の表す敬意は比較的軽い。したがって、この例のような場合にも、さかんに用いられる。以下同じ。)
16. (もう全部) 消しているか ①ケンテモトツテ カ / ②ケシテモトツ カ
17. (今にも桜が) 散りそうだ ①チリソーヤ
18. (ちらほらと) 散り始めた ①チリダシタ / ②チリカケタ / ③チリカケヨル
19. (今現に) 散っている ①チリヨル / ②チットル (進行態に用いられるヨルとトルの間には意味上の明確な差異は認められないとのこと。女性話者から、トルよりヨルの方が耳に柔らかく女性向きで、ヨルをよく用いるとの回答があった。)
20. (桜の木がすっかり) 散っている ①チッテモトル
21. (地面一面に) 散っている ①チットル (地面を見て) / ②チッテモトル (桜の木を見て)
22. 今にも降りそうだ ①フリソーヤ
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フリソーヤツタ / ②フルミタイヤツタ
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①フurryョツタ / ②フットツタ
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①アケカケトツタ / ②アケカケョツタ
26. (来年の今ごろは家を) 建てている (最中) ①タテトル (確定的な場合) / ②タテヨル (不確定的な場合)
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ① (家を) タテテシモートル / ② (家が) タッテシモートル / ③ (家が) タットル / ④ (家が) デケトル (家の場合には、建ツより出ケルの方をよく使用することであった。)

28. (あの家はよく) 磨いてある ①ヨー ミガイトル / ②ヨー ミガイトッテヤ
29. (隣の犬が) 鳴いている ①ナッキョル / ②ナイトル
30. (隣の子が) 泣いている ①ナッキョル / ②ナイトル / ③ナッキョッテヤ / ④ナイトッテヤ
31. (こどもたちが) 喧嘩している (シヨルの方がややくだけた言い方。) / ③シヨリマッ セ / ④シトリマッ セ
32. (家に) いるかなあ ①オルヤロ カ / ②オッテヤロ カ
33. (〇〇さん) いるか ①オル カー / ②オッテ カー
34. (ああ) いるよ ①オル デー / ②オリマッ セ
35. (そういう人も) いるよ ①オル デ / ②オッテヤ
36. (あなたは今何を) していたか ①シヨッタ ン / ②シトッタ ン / ③シヨッタッタ ン / ④シトッタッタ ン
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ①ミトッタンヤ / ②ミトリマシタンヤ / ③ミヨッテン
38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①シンニョル / ②シニソーヤ
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ①シンドック
40. 読み始めていた ①ヨミカケヨッタ / ②ヨミカケトック
41. 読み始めたところへ(～た) ①ヨミカケヨッタ トコエ / ②ヨミカケトック トコエ
42. 着くと同時に～した ①ツクナリ(盛) / ②ツクカ ツカンニ(次に盛) / ③ツイタ トタンニ(文章語的)
43. 着くと同時に～してくれ ①ツイタラ ジキニ / ②ツキシダイ(文章語的)
44. 鳴りつづけている ①ナリップナシ(呼び出し音が止まらずに鳴り続けている状態) / ②ナッテバッカシ(電話の掛かる回数が非常に多い状態)
45. (先生は今何を) しているか ①シトッテ ノン / ②シヨッテ ノン / ③シトッテデン ノン / ④シヨッテデン ノン
46. 好きだ ①スッキヤ / ②スッキヤ ネン
47. 見られているのも ①ミラレトンノモ
48. (今、運動会が) ある ①(を) ヤットル / ②(を) ヤッリョル / ③(を) ショル サイチューヤ
49. (降らなくて) よかったよ ①ヨカック
50. (先生がこっちへ) 来つつある ①キヨッテヤ
51. (犬がこっちへ) 来つつある ①キョル
52. 似ている ①ニトル
53. (一週間も前から遊びに) 来ている ①キトル

54. (昔から) 苦勞していない ①シトラヘン
55. (今はあまり) 苦勞しないでいる ①ショラヘン / ②シトラヘン
56. ~は売っているが、~は売っていない ①~ワ ウットンケンド ~ワ ウットラヘン / ②~ワ ウッリョンケンド ~ワ ウッリョラヘン
57. (昔からタバコを) 売っている ①ウツトル / ②ウッリョル
58. (今、大売り出して衣料品を) 売っている ①ウツトル / ②ウッリョル
59. (もう三回) 来ている ①キタ コトガ アル / ②キトル
60. (いつも) 来ている ①キトル / ②キョル
61. (昔はいつも) 来ていた ①キトツタ / ②キヨツタ
62. (前に一度) 行っている ①イタ コトガ アル / ②イツトル
63. 先に行っておいてほしい ①イトツテ クレ / ②イキカケヨツテ
64. 待っていないさい ①マツトキ ヨー / ②マツトリ ヨー (②の方が①に比べて命令口調が強い。) / ③マツトツテ ヨー (優しい言い方。)
65. (外に) 待たせてあるよ ①マクセトン ネン / ②マクシトン ネン
66. 食べておいておくれ ①タベトイテ ナー / ②タベトツテ ナー
67. (昔と) 違っている ①チゴトル / ②チャウ (若い言い方。)
68. (昔は今のと) 違っていた ①チゴトツタ
69. (毎日梅干しを) 食べている ①タベトル / ②タベヨル
70. (毎朝) している ①シヨル / ②シトル
71. 気をつけていて (~した) ①キー ツケヨツタツタノニ / ②キー ツケトツタツタノニ
72. 行ったまま ①イタ ママ / ②イタ キリ / ③イタ ナリ
73. ~しながら ①~シーシー~ / ②~シーモツテ
74. ~の途中で~する ①イキシナニ / ②イキガケニ
75. ~の途中で~した ①イキシナニ / ②イキガケニ / ③イッキョル トチュエデ
76. ~の途中で止めて~した ①ヨミサシデ / ②ヨミサシテ
77. ~したばかりだ ①ヨンダ トコ (盛) / ②ヨンダバッカシ (稀)
78. 無くなっている ①ノー ナツテモトル / ②ノー ナツトル / ③ナイヨー ナツトル
79. 無くなるぞ ①ノー ナツテマウ / ②ナイヨーニ ナル
80. 掛けておいた帽子 ①カケトツタ / ②カケトイタ
81. 並んだ本 ①ナランドル
82. 並べた本 ①ナラベトツテノ / ②ナラベタール
83. 読んでおこうか (~しておこうか) ①ヨンドコ カ
84. やってあるか ①ヤツテモトル / ②ヤツテモタ / ③ヤツトル

85. 壊している (1)メンギョル / (2)メンドル (中年以上では、壊す意のメグがよく用いられ、コワス形の回答は得られなかった。)
86. 壊れている (1)メゲトル
87. 壊されている (1)メガレトル
88. のけてある (1)ノケトル / (2)ドケトル / (3)ドケタール (ドケルは除けるの方言形。)
89. 書き終わった (1)カイトモタ
90. 書いてしまいなさい (1)(ハヨー)カイテシマイー ナ / (2)(ハヨー)カイテマイン カイナー
91. 書いてしまう (1)カイトシマウ / (2)カイトマウ
92. 書いてみた (1)カイトミタ
93. (孫は今)入院している (1)ニューインシトル
94. (弟も今)入院しているそうだと (1)ニューインシトトラシー
95. (きっと)よくなるよ (1)ヨーナル デー / (2)ヨーナッテヤ ワー / (3)エーメーガ メーヨルサカイ ガンバリヤ
96. (だんだん)よくなるよ (1)ヨーナル デー / (2)(ダンダン)エーホーニムイテヤ
97. 歳とるとね、 (1)トシトッタラ / (2)トシイッタラ
98. なおらなくなるよ (1)ナオラン モンヤ / (2)ナオリクイ モンヤ / (3)ナオリガ オソイ モンヤ (「なおらなくなっていく」「なおらなくなってくる」のような表現は普通しない。)
99. (1)(犬が)怪我したので (1)(犬が)ケガシタサカイニ (「怪我しヨックの」は言わない。)
- (2)(子供が)怪我したので (1)(子供が)ケガシタサカイニ (「怪我しヨックの」は言わない。)
- (3)(お父さんが)怪我したので (1)(お父さんが)ケガシタッタサカイニ (「怪我しヨックの」は言わない。)
- (4)(雨が)降ってきたので (1)(雨が)フッテッタサカイニ (「降ってきたヨックの」は言わない。)
- 当該地域では「ヨル」による卑蔑表現は見られない。代わりに、「(雨が)フッテキヤガッタサカイニ」の「~ヤガル」、「(仕事も)シクサラント」の「~クサル」が用いられるが、かなり低待遇の表現であり、男性にのみ用いられる。
100. (1)「雨が降りつつある」は、B「今、ぼつぼつ降り始めた」状態と、C「すでに盛んに降り続けている、降っている最中である」状態とに回答が分かれた。
- (2)「貯金が増えつつある」は、A「貯金が少しずつ増えようとしている」状態と、

B「すでに現にどんどん増えている」状態とに回答が分かれた。

(3)「貯金を増やしつつある」は、C「すでに現にかなり増やしている最中」であることを表す。

### III. 総括(まとめ)

当該地域は、質問32~35の回答からも分かる通り、存在動詞はイルではなくオルを使う地域である。従って、「書キ・オル」から出たと考えられる「書きヨル」、「書イ・テ・オル」から出たと考えられる「書イトル」が使われている。

本調査から帰納されるヨルとトルの違いは、以下の通りである。

	将 然	進行(糺)	反 復	状態(粧)	結果(寤)	遠向・近向
ヨル	消エヨル	降りヨル	食べヨル	○	○	来ヨル
トル	( )	降ットル	食ベトル	似トル	メンドル	( )
例文	(3)(4)	(19)(24)	(69)(70)	(6)(21)	(81)(84)	(12)(13)
番号	(7)(38)	(37)(47)		(27)(39)	(86)(88)	(50)(51)

※メグは壊すの意

ところで、『講座方言学7 -近畿地方の方言-』（「兵庫県の方言」の項）（昭和57年 国書刊行会）によれば、「テル」について、

フッテイルの意味で、フッテルは大阪弁的で、神戸などでは若い人の新しい言い方である。

と記述されているが、当該地域においても、「ナニ シテル ノン。」「シッテル コトガ アツラ イーヨ。」などのように、テイルが変化したと考えられるテルが聞かれることも珍しくない。しかし、これらは主に中年以下、特に若い人達の談話に多く見られるものであり、本調査の話者に尋ねたところも、テルは「若い人たちが使っているはよく聞くが、自分たちは普段使わない」言葉であり、「気のおける場で、あるいは気のおける人に対する場合に使うよそ行きの言葉」などという一致した回答が得られ、かなり共通語的に用いられていることが分かる。

なお、滝野町の南に隣接する同郡社町では、「行ットリタ」「行キヨリノ」といった表現が中年以上の女性の間でよく使われている。「行ットツタ」「行キヨンノ」の促音便、撥音便前の形かと思われるが、「マツトツタノニ サキ ヒトリデ 行ットリタ ワ。」（待っていたのに、先に一人で出掛けてしまわれていたわ。）「コンナ ハヨーニ ドコイキヨリ ノ。」（こんな早くにどこへお出掛けなの。）などと用いられ、軽い敬意が込められた表現となっている。

(くろさき よしあき 園田学園女子大学)